

平成17年度美濃病院の実績

～地域から選ばれる満足度の高い医療サービスの提供を目指して～

医業収益は過去最高

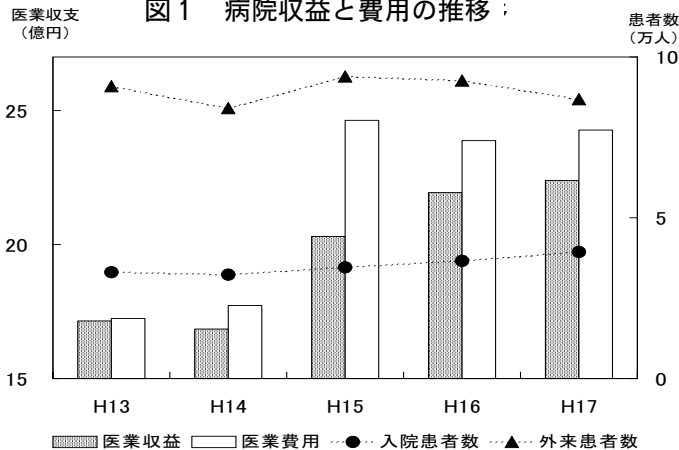
平成17年度的美濃病院の決算見込みは、医業収益（入院や外来診療などの医療によるもの）は22億3830万円（前年比+4421万円）と過去最高を記録しました。

入院患者数は3万9329人（前年比+2836人）、外来患者数は8万6808人（前年比▲5801人）となりました。（図1参照）

医療ネットワーク

美濃病院は地域の皆さんに満足度の

図1 病院収益と費用の推移；



高い医療サービスを提供するために、他院と連携して地域ぐるみの医療を展開することを目指しています。

皆さんがいつもかかる『かかりつけ医』（開業医、診療所）は、皆さんや家族の病歴、体質などを良く知っているため、その人にあった医療や外来診療を迅速に行うことができます。

一方、美濃病院では最新医療機器を用いた専門的な検査や手術、入院治療など、専門医による高度医療を提供することができま

す。このように地域の診療所と得意分野を分担し、大学病院とも密接に連携した『医療ネットワーク』によって、地域の医療レベルを向上させつつ、美濃病院の収益を向上させることができました。

高度医療への転換

手術件数は年々増加（図2参照）し、入院患者の割合が増加していることは、美濃病院の医療が徐々に高度医療へシフトしていることを示しています。

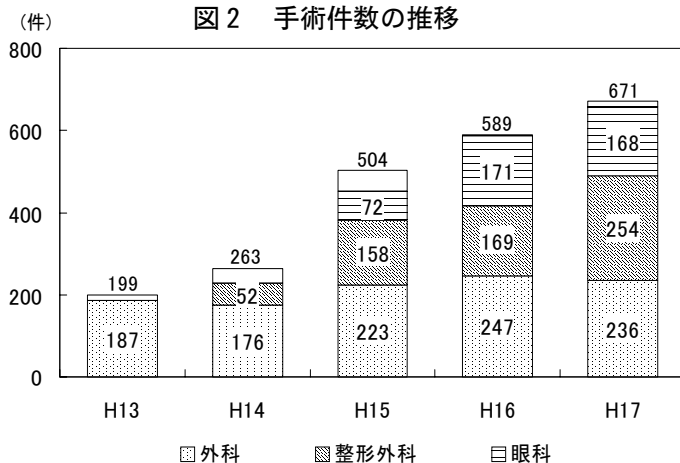
そして、平均入院期間は19・4日と短縮し、ベッドの利用率も90%と増加しています。早期退院により入院治療の効率が向上し、美濃病院が地域の入院治療施設としての役割を拡大しつつあります。

マスコミで報道されているように、深刻な医師不足と医療改革が急激に進んでいます。地域医療を担ってきた全国の自治体病院の6割以上が赤字という厳しい状況下にあります。

当院においても、病院建設の減価償却費3億3958万円が影響して、経常損失は2億3864万円を計上しました。

今後とも、地域医療レベルと病院経営の向上を図り、皆さんがより安心して医療を受けられる環境を構築していきます。これからも皆さんの温かいご支援をお願いします。

図2 手術件数の推移



最新情報

～ニーズに応えるために～

ジェネリック薬品

ジェネリック医薬品は開発費などがかからない分、新薬の40～80%と安く設定されています。

美濃病院では5月からジェネリック医薬品を一定の基準のもとに導入し、患者様の負担額を軽減するようにしています。処方薬の変更時には薬剤師が説明いたしますので、安心して切り替えていただけます。

セカンド・オピニオン

「手術をすすめられたけど、どうしよう」重大な決断をしなければならぬ時、他の専門医に相談したいと思うのは当然のことです。

美濃病院で5月から開設した『セカンド・オピニオン外来』では院長みずから、患者様の治療などの相談を始めました。

ご希望の方は美濃病院セカンド・オピニオン担当（☎33-4120・内線900）までご連絡ください。（完全予約制）

クレジットカード

外来や入院費のお支払い時に「持ち合わせがない」「大金を持ち歩きたくないなあ」と思ったことはありませんか？

美濃病院ではクレジットカードや銀行のキャッシュカードで、診療費をお支払いいただけるようになりました。

今後とも、皆さんに喜んでいただけるように改善に取り組んでいきますので、ご意見をお聞かせください。

得意な専門医療

～小さくてもキラリと光るために～

消化器病

経鼻内視鏡（鼻から楽に入る細径胃カメラ）を始めとする最新の内視鏡を用いたガンの早期発見や内科的治療。腹腔鏡を用いた内視鏡下外科手術など、胃ガンや大腸ガンなどに代表される消化器病に対して内科や外科の専門医が連携して最新システムを用いた先進的な治療を提供しています。



▲高度先進外科手術である腹腔鏡を用いた内視鏡下外科手術

糖尿病

糖尿病を中心とした生活習慣病に対して、医師、管理栄養士、糖尿病療養指導士などの治療スタッフがそれぞれの専門知識を生かしてチーム医療を行っています。また、糖尿病専門外来と脳卒中・頭痛専門外来（神経内科）との連携により、高血圧、高脂血症を含む生活習慣病を広く網羅した医療を提供しています。



▲糖尿病の指導（血糖値測定）

整形外科疾患

最新の高精度顕微鏡の導入により、腰椎・脊椎手術や神経縫合、血管縫合など高度で繊細な手術を最小の傷で体に優しく行っています。

また、クラス100のクリーンルームである手術室では、膝や股関節の人工関節置換術などの高度な手術を行い、充実したリハビリテーションにて機能回復を図っています。



▲高精度顕微鏡による整形外科手術